



## ありあけ

2023(令和5)年  
3月1日(水)

豊かな心

校長 前嶋 正秀

タレントのタモリさんが、ご自身がパーソナリティを務めるラジオ番組で、先日こんなことを話されていたそうです。

「高校生のときは桜が咲いても何とも思わない。でも、年を取ると桜に感情が入ってきたりする。砧(きぬた)公園の桜を見に行くと(人)それぞれが飲んだり、子供たちはボールを投げて遊んだりしていて、“これが極楽だよな”って」

またこんなこともおっしゃっていたとのこと。

「高校のときは思わないんだけど、“普通が貴重”って感じる」

年齢を重ねて、心のありようが変化してきた、ということだと思います。年を取るにつれて、目に見えるもの、耳に入ってくるものに対して、心が動いたり色んなことを感じたりする、または妙に涙もろくなったりというのは、自分がある程度の年齢になってきて「本当にその通りだなあ」と実感しています。ただ、若い人たちにもこのような心のありようがないわけでは決してありません。中学の新生ガイダンスでは毎年、春休み中のサイエンスの課題として「私の心が動いた瞬間」というタイトルで、自分が目にした風景をどう捉え、どう感じたかということ、写真やイラスト等を使ってA4の用紙に表現して提出してもらい、これを入学後の授業で各自発表してもらっていますが、その発表を聞くと、たくさんの「豊かな心」に出会うことができます。こんな感覚はずっと大事にしておいてほしいです。

後段の「普通が貴重」というお考えも、なるほどと頷けます。例えば生徒の皆さんの身近な例で言えば、

- ・親がお弁当を作ってくれる
- ・好きな部活に一生懸命打ち込める
- ・毎日学校に来て友だちと楽しく学校生活を送る

などは、もしかしたら皆さんは「当たり前」のことと受け止めているかもしれませんが、でもちょっと考えればわかると思うけど、これらのことは決して「当たり前」のことではありません。「普通だけどとても貴重」なことなのです。おいしいお弁当が食べられるのも、部活に熱中できるのも、友だちと楽しく学校生活を送れるのも、すべて周囲の人たち、特にご家族の支えとか協力があってこそそのことです。むしろこのことの方がまさに「当たり前のこと」と言っていいでしょう。

誤解のないように言っておきますが、ここで私がいちばん言いたいのは「だからご家族には感謝しなくちゃいけないよ」ということではありません(もちろん、常にそういう感謝の気持ちを持っていて欲しいとは願っていますが)。タモリさんがおっしゃる、「普通が貴重」という考えにつながりますが、自分がやっているさまざまなこと、そして自分の身の回りに起こっているさまざまなことを「当然そうになっている」ととらえずに、「当たり前を疑う」ことで、視野が広がったり、考えが深まったりするということです。そしてそのことが「豊かな心」を育むための土台になるということです。さらに、豊かな心を持つことは同時にまた、先の見えない不確かな時代に社会に出ていかななくてはならない皆さんにとって、必要不可欠な資質の一つにもなります。

是非皆さん、「豊かな心」を育みましょう。

## かえつ有明 Instagram のご紹介

本校ホームページ「最新情報」ページよりも、リアル・速報・詳細で、たくさんの写真・動画が掲載されています。

広報部(入試広報と学校生活) [https://www.instagram.com/kaetsu\\_kouhou/](https://www.instagram.com/kaetsu_kouhou/)

ドルフィン(情報センター図書館) [https://www.instagram.com/dolphin\\_kaetsu\\_library/](https://www.instagram.com/dolphin_kaetsu_library/)

\*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡等をよくご確認ください。